

## 1 ニンドウ

### 2 確認試験の項を次のように改める.

3 確認試験 本品の粉末1 gにメタノール5 mLを加え、5分間振  
4 り混ぜた後、遠心分離し、上澄液を試料溶液とする。別に薄  
5 層クロマトグラフィー用クロゲン酸1 mgをメタノール2  
6 mLに溶かし、標準溶液(1)とする。また、薄層クロマトグラ  
7 フィー用ロガニン1 mgをメタノール2 mLに溶かし、標準溶  
8 液(2)とする。これらの液につき、薄層クロマトグラフィー  
9 〈2.03〉により試験を行う。試料溶液、標準溶液(1)及び標準  
10 溶液(2) 10  $\mu$ Lずつを薄層クロマトグラフィー用シリカゲル  
11 を用いて調製した薄層板にスポットする。次に酢酸エチル/  
12 水/ギ酸混液(6 : 1 : 1)を展開溶媒として約7 cm展開した後、  
13 薄層板を風乾する。これに紫外線(主波長365 nm)を照射す  
14 るとき、試料溶液から得た数個のスポットのうち1個のスポ  
15 ットは、標準溶液(1)から得た青白色の蛍光を発するスポ  
16 ットと色調及び $R_f$ 値が等しい。また、薄層板に4-メトキシベ  
17 ンズアルデヒド・硫酸試液を均等に噴霧し、105  $^{\circ}$ Cで5分間  
18 加熱するとき、試料溶液から得た複数のスポットのうち1個  
19 のスポットは、標準溶液(2)から得たスポットと色調及び $R_f$   
20 値が等しい。

21

22